

三条北ロータリークラブ週報

No. 42



ゴードン R. マッキナリー RI会長 「世界に希望を生み出そう」
 第 2560 地区：米山忠俊ガバナー 「ロータリーの心で友情を深めよう」
 三条北 RC：森 宏会長 「GLOBALに活動しよう」



会長：森 宏 幹事：安藤 宰 SAA：福岡 信行

●例会日：火曜日 12:30～13:30 ●例会場：三条ロイヤルホテル Tel 0256-34-8111

- ◆本日の行事：「ガバナー卓話」
- ◆本日の出席：54名中30名
- ◆先々回の出席率：54名中46名 85.19%
(前年同期 83.02%)
- ◆先週のメイクアップ(敬称略)：
 - 5/15 三条 RC 本間建雄美、樋口 勤
 - 5/16 三条東 RC 石川勝行、本間建雄美
石川友意、樋口 勤
 - 5/16 ファイヤーサイドミーティング
武田恒夫、齋藤孝之輔、佐藤義英
坂内康男、小林伸行、高橋研一
吉川将人、大橋桂子、田口実仁佳
野新吉、外山晴一、長谷川哲昌
花井知之、石黒隆夫、金子太一郎
瀧岡 茂
 - 5/18 地区ロータリー財団委員会 瀧岡茂
 - 5/19 分水 RC 創立 50 周年記念式典
米山忠俊、森 宏、安藤 宰
福岡信行、石黒隆夫、大野新吉
落合益夫、外山晴一、瀧岡 茂
星野義男、本間建雄美
- * 本日の配布書類等
 - ・月信 5月号(閲覧)
 - ・週報 No.1754

会長挨拶：森 宏 会長



皆さんこんにちは。

本日は、米山ガバナーに、1年を振り返って卓話をお願いしました。米山さんは、1年間にわたって、ガバナー訪問も含め散々お話をされてきたことと思いますが、自クラブからガバナーが出るということは、この先また20年以上ないでしょうから、無理を承知でお願いさせていただきました。後ほどよろしくお願い申し上げます。

さて、一昨日は分水ロータリークラブの50周年記念式典に、当クラブから10名で参加してきました。勿論米山ガバナーはまたご挨拶に立たれました。分水のクラブですから、記念講演も大河津分水に関するお話で、Love River Net 代表の樋口勲様という方が、大河津分水がなければこの新潟の発展はなかったのだ、という、大河津分水に対する熱い思いを語られました。アトラクションでは、まずつばめ商工会女性部の分水チェリーベルという、ベテラン女性グループの皆様による美しいハンドベル演奏がありました。次いで、これが大変ユニークだったのですが、真言宗豊山派越後仏教青年会の僧侶の皆様7名による太鼓演奏がありました。大変迫力のある演奏で、大いに盛り上がり、彼らは初めてもらったというアンコールもありました。

幹事報告： 齋藤孝之輔 副幹事



- ・新潟南 RC・新潟西 RC・新潟万代 RC より、「例会場変更のお知らせ」 2024.7.1 より
 【変更後】新潟南 RC・新潟万代 RC・・・新潟グランドホテル
 新潟西 RC・・・ホテル日航新潟
- ・三条 RAC より、「5月第二例会のご案内」
 日時：5月30日(木)19:30～21:00 会場：三条・燕地域リサーチコア 4F



事務局：三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内
 Tel 0256-35-7160 / Fax 0256-35-7488 HP : <http://www.sanjo-nrc.org>



- ・新井妙高 RAC より、「創立 50 周年記念式典祝賀会のご案内」
日時：7 月 27 日(土)13：00～19：00 会場：デュオセレッソ
- ・三条市共同募金委員会より、「議案書の送付について」
- ・にいがた緑の百年物語緑化推進委員会より、「令和 6 年度定時総会開催について」
日時：6 月 21 日(金)13：10～14：50 会場：新潟県自治会館
- ・三条市立大学より、「Music Journey 開催案内の掲示について」
日時：6 月 1 日(土)11：00～ 会場：三条市立大学

ロータリー財団 BOX

5 月 21 日現在累計 505,000 円

- 森 宏 君 米山ガバナー、卓話宜しくお願い致します。
高橋 研一 君 少額ですが、協力します。
大野 新吉 君 かすれ声でも～、声の出る内に皆様方に感謝～感謝です。
花井 知之 君 米山ガバナー卓話ありがとうございます。



米山奨学 BOX

5 月 21 日現在累計 274,000 円

- 森 宏 君 協力します。
石黒 隆夫 君 新潟交響楽団第 112 回定期演奏会が 6 月 9 日りゅーとびあで開催されます。
本日前売チケット持参しております。自由席 1,000 円です。
金子太一郎 君 米山ガバナーの卓話、よろしく申し上げます。
小林 伸行 君 協力します。
羽賀 一真 君 米山忠俊ガバナー、一年間大変お疲れ様でした。我がクラブの歴史に残る名誉です。
今後ともご指導の程よろしくお願ひいたします。



スマイル BOX

5 月 21 日現在累計 887,000 円

- 米山 忠俊 君 今日は卓話の機会を頂きまして有難うございました。
石川 一昭 君 本日の卓話米山ガバナー、宜しくお願い致します。
今週末の国際大会参加、御苦労様です。
森 宏 君 分水ロータリークラブの 50 周年記念パーティーで真言宗の僧侶による太鼓演奏は
圧巻でした。
武田 恒夫 君 米山ガバナー、一年間お疲れ様でした。
齋藤孝之輔 君 おとといマダイ釣りに行き過去にないほどの爆釣でした。
残念ながら皆さんの分お配りするには足りなかったため、次回もがんばります。
外山 晴一 君 米山ガバナー、ご苦労様です。
石川 友意 君 米山ガバナーの卓話に感謝して!!
星野 義男 君 クラブの財政に気持ちです。
佐藤 義英 君 BOXに協力!!
落合 益夫 君 BOXに協力。
吉川 将人 君 休みに山形に行きました。その時、地酒十四代本丸というものを飲みました。
酒好きながら知らなかったのですが有名らしく、大変美味でした。
機会があれば皆さんもお試し下さい。



本日の行事：「ガバナー卓話」



皆さん、こんにちは。ボックスのコメントに、皆さんからたくさん入れていただきましてありがとうございます。ガバナーをもう少しで終わるといふことで、今日この機会をいただきました。

第 2560 地区 米山忠俊 ガバナー

ガバナーの任期もあと 1 ヶ月ちょっとですが、エレクトとノミニーを合わせると 3 年位になります。いろんな行事に出席や、また様々な案件の答えを求められることもあり、たくさんの仕事がある中で何とか皆さんのおかげでここまでたどり着きました。

ノミニーのお話をもらった時に体力が持つかと心配しましたし、掛かりつけのお医者さん達や家族も大変心配しておりました。実は辞められない事情がありました。AG会の中で三条 4RC から出して欲しいということで他方面お願いに上がりましたが、選出期限が迫る中なかなか決まらず困り、仕舞に私にやれとのことになってしまいました。

私には持病がありまして、いつ死ぬかわからないと話しましたが、責任を取らされる形でガバナーを受けざるを得なくなりました。

ガバナーになって、北クラブの皆さんに大変お世話になり、地区大会では 54 クラブ中、財団、米山ともに 1 位で表彰されました。本当に物心両面で皆様からご支援をいただきありがたく思っております。四大大会や各委員会でもガバナーが出ているクラブが率戦して一生懸命されていることを他のクラブの皆さんからも、今年度は良かったなと頑張ったなとという評価をいただきまして、本当にありがたいと思っております。やはりさすが三条北 RC の底力はあるなと感じておりました。

今日の話としまして、ガバナーの感想はもちろんですが、私個人的には、今年 80 になりましたので、80 の人生どうだったか、ということもお話しさせていただきたいと思えます。

私の生い立ちは皆さんもご存知の通り、3 歳の時に東京から養子に來ました。米山家は私で 8 代目であります。江戸末期から続き 8 代の中でも何代か前に同じく養子もらったそうです。商人の家系でしたから、良い時も悪い時もあり、6 代目の時には倒産をしました。

5 代目で米亀という菓子屋を営みました。三条ではかなりの菓子屋で新潟のイタリア軒まで納めていたそうです。5 代目が創業し 6 代目で倒産をしてしまったわけです。

7 代目の私の父は戦争へ行って負傷し長々寝ていまして亡くなりました。その父は、親としての責任から私には非常に厳しく接し、私のためには良かったと思うんですが、端から見てもかなり厳しく育てられました。その反面、母は大変優しい人でした。仕事を一生懸命にやり家族を守ってこられました。父と母があって自分はここに運命があったのだと思っております。

私は 19 歳の時に、母の溶接屋を継ぎました。そして、26 歳で結婚をしまして、男の子 3 人を儲け家族ができました。

仕事に対しては時代の流れで、溶接屋から鉄工所、鉄工所から建設屋を生業としてやってきました。建設業が中心なんですが、建設業は厳しい業界です。景気の良くなる時は増えますが、景気が悪くなると少なくなる業界です。まして、私らは後発で、0 からのスタートでしたから、なかなか大変でした。

地元の中で同業者が競争し合ったら共倒れになります。そして、業界自体がまとまらないんですよ。そこで私は市外や県外に出て行きました。先輩業者の方には、米山さんみたいに県外まで行って仕事しなきゃならないようだったら、自分は仕事をやめると言われました。

業界では一業者がいなくなれば、競争がゆるくなり良い訳であり、業界内の役員や副理事長などをさせていただきました。

大変でしたが、仕事を通じいろんな人と出会うことができました。一時期この県央地区でトップクラスの建設業者を初め当時の業者で今残っている方は少ないです。それは一時は戦後の景気の中でやってきた業者が、経済が落ち着き、別の道に行くか、新たなやり方を見い出して行くかとそのままでは存続が難しくなりました。

そんな中、私には大勢の人が応援してくれました。まず金がなく資本がないものですが、友人、親、親戚とか限界があるわけです。やはり金融機関なんです。金融機関も初めの頃は三条信用金庫と取引していましたが、ある時、その信用金庫の支店長にうちばかりではだめですよと言われました。私は商売やっていると、取引はここと決めるとそこばかりなんですね。建設業というのは元請をやっても、電気、水道、板金、内装等いろんな業者も関わってきます。支店長からうちばかりじゃダメだから、国の金融機関と取引しなさいと教えてもらいました。そこで、北海道東北開発公庫というところを訪ねました。うちは 1 億からの融資と言われましたが、粘ってお願いをして融資してもらいました。その何年か後には 10 億の枠を作っていただきました。

地元の金融機関には建設業は信用がなく、仕事の良い時良くない時で変わるんです。国の金融機関は 10 億だったらその返済をきちんとして信用を積み、返したが額をまた貸してくれんです。

金の話は金融機関、仕事の話は業界の大手だと思っています。清水建設さんが三条へ初めて入ってきた時に取引が始まり、三條機械さんをさせてもらいました。そこから、清水建設さんの県外や横浜支店や東京本社の仕事をさせてもらえるようになりました。

融資を受けるのに担保も保証人もない、そこで何かというと信用なんですね。金融機関は取引先に電話をするんだそうです。私の取引先は米山建設と一緒にやっていきます、大丈夫ですと、言ってくださるそうです。福田組さんの亡くなられた社長は日本の建設業界で 10 本の指に入りたいという目標がありました。外注先の皆さんもどうかその力になって欲しいということで一生懸命勉強しました。仕事の勉強をしたり、建設業界のいろんな問題に対しての法律的な事とかいろんなこと、

それぞれいろんな人とのお付き合いさせてもらいながら。今日に至っております。

ロータリークラブと私の関わりは、三条北ロータリークラブが創立する時に誘われチャーターメンバーになりました。もうすぐ40年になるんですね。ロータリーは40年。人生80年。いろんな節目の年になりました。80まで生かしてもらい皆様のお陰で、今回ガバナーを務めさせていただいて、いろんなことを勉強させていただきました。

コロナで止まっていた公式訪問が3年ぶりに再開しまして、そのガバナー公式訪問に石黒幹事、石川筆頭副幹事、各7分区のガバナー補佐と一緒に久しぶりに公式訪問をさせていただいたのが私にとって1番の思い出です。

反対もあった中、やって良かったと思っています。ガバナーがやりたいと言っても状況が状況だから慎重にという意見もありましたが、私としては54クラブを回りいろんなロータリアンに会って意見を聞き、クラブの状況を聞きたいという思いでした。楽しく歓迎された親睦会もありました。ロータリーの皆さんは真面目で真剣に取り組んでおられるのが良く分かりました。自クラブはこうだと、こういう風にやってるという話を聞き、その仲間内の気安さ、互いにロータリアンという繋がりは大きいものを感じました。

パストガバナーの中でも繋がりの深い方は原信一さんでした。スーパー原信の創業者の原さんがガバナーの年に私は会員増強委員長でした。原さんからはたくさん勉強させていただきました。

原年度の事務局は自社の社員を使われました。それには考えをお持ちで、ロータリーは経営者の集まりだから、いろんなその経営者の方の考えなど聞き大人になるんですよと仰いました。

会員増強委員長としての私には、全国でナンバーワンになりたいと言われました。そんなことできるわけないと思いましたが、できないとも簡単に言えませんし、その前に計画書を作り予算はこのぐらいだと出したんです。会計からはダメとの回答でした。原さんはガバナー活動費を使ってくれ、米山さんの言うとおりに出してくれと言われました。いよいよ責任がかかってきて、その時も北クラブの皆さんから力になってもらい、地区をまとめて全国1位になることができました。34地区中で1番、原さんに大変喜ばれました。

中條さんをガバナーに推薦の際は、本人も強く求められたし、クラブとしても中條さんを推薦したいということになりました。1回目の推薦の際

は受け入れられませんでした。私と原さんとの繋がりが原年度で、中條さんを原さんが強く推薦してくれてガバナーになることができました。

人間ってというのは皆、繋がりが大事で、貸し借りはあるかも知れませんが、信用だと思いました。その時は斎藤正地区幹事も頑張られました。皆さんも頑張って、中條ガバナー年度ができたんですね。

植木ガバナーの年度では私はガバナー補佐を務めさせていただきました。植木さんとは同じ年だと思うんですが、気が合ったものですから、互いに力になったり協力したりしました。それまでは、植木さんは建設業ですがお付き合いはありませんでした。植木さんから、米山さんうちの仕事やれて！ということで、うちの担当に話が行き、何回も一緒に仕事させてもらいました。

世の中は人間関係、いい出会いが大事だと感じています。特にロータリーはそういう機会が多いです。

また、田中作治さんは2012-2013年度RI会長をされました。2年前の私がエレクトの時に東京でお会いしました。ご自身の部屋に私と家内を招いてくださり、お茶をごちそうになりました。私の田中作治さんとの出会いは、田中さんが中小企業大学校の講師に来られた時に講演を聴きに行きました。田中さんは魚沼のご出身ですが、お母さんと東京に出て行き、リアカーを引っ張り行商し、会社を興し大きくされました。そして現在は会社を弟さんに譲り、子供が独立していった大きな家も売り、ロータリーに寄付したんだそうです。そして自分は奥さんと借家に住んでいるという話を聞いて、ロータリーは素晴らしい、素晴らしい人がいるんだなと思いました。こんな話を聞くと、私も弟を社長にしてあげたいと思い、65歳の時に顧問になりました。

ロータリーにはいろんな人がいて、いろんな仕事をされていて、いろんな関係ができ、また可能性があります。そんな中で、皆さんも大いにそのロータリーを利用し生かして、これから皆さんの役に立つように、そしてこの北クラブの役に立つようになればなと思っています。

羽賀年度の40周年で、この北クラブからまた何かが起きると思います。この機会に大きく飛躍していただきたいと思って、今日の卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。